

HEARTFUL NEWS vol.14

「受け取ってもらいやすい広告とは」

こんにちは！ハートフルクリエイションです。

突然ですが問題です。「現在でも広告媒体として大人気。江戸時代から広告として第一線で活躍を続ける、あるものはいったい何でしょうか？」ヒントは身近な季節物です。答えは6行後に…。

まずは意外と知らない日本における広告の歴史を、簡単にご紹介いたします。

日本において広告の概念が広まったのは江戸時代。新聞や瓦版の大衆化が大きく影響しています。

引札と言われる広告が作られるようになり、見世物小屋や店の軒先など人が集まる場所で配られました。

そして、当時、娯楽として親しまれていた双六や錦絵などが引札代わりに配られるようになり、現代の「ノベルティグッズ」のような役割も誕生しました。

中でも、団扇は実用性も兼ねたものとして、江戸時代から大人気。団扇が大衆に広まった当時は日本の美術的な価値が海外でも評価され、そういった美人画や浮世絵があしらわれた団扇は、広告としての需要の高まりを見せた時期でもありました。

現代でもノベルティの最前線として活躍をしている団扇ですが、広告としての効果もさることながら、受けとって貰いやすいことも特徴のひとつです。

夏の暑さに「涼」を贈るという気遣いも江戸時代から続く人気の理由かもしれません。

今年の夏は、オリジナルのデザインがあしらわれた団扇で、お客様への贈り物に彩りを添えてみてはいかがでしょうか。団扇をはじめノベルティ制作を請け賜っております。企画・提案、デザイン制作、製品生産まで、お気軽にお問い合わせください。



詳細はこちらから

<http://heartfulcreation.jp/news/>

2022年5月12日

HEARTFUL NEWS に関するお問い合わせ

配信担当：岡部、永易

Tel : 03-5847-1199